

“はじめよう！「段ボールコンポスト」” 実施結果！

2022年9月 30日 神戸市リサイクル工房あづま

夏休みの期間を利用して「段ボールコンポスト」を活用することで、家庭から出る「燃えるごみ」をどれくらい減らすことができるのか44世帯のご家族に挑戦していただきました。

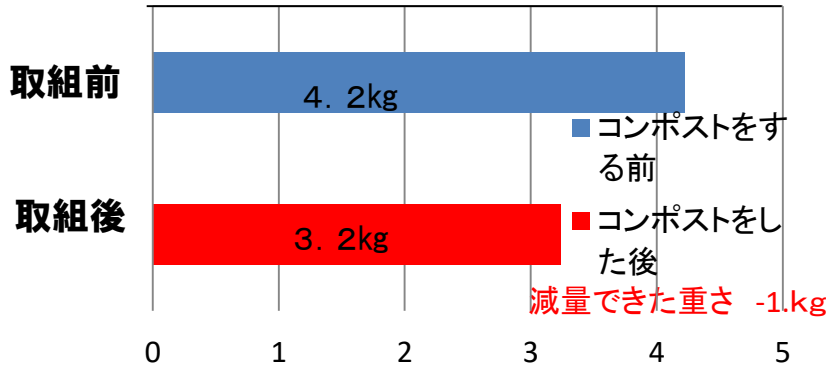
【実施方法】

- ①7月22日～8月5日(1～2週目)は、なにもせずにごみの重さを量りました。
- ②8月5日～8月19日(3～4週目)は、「段ボールコンポスト」をはじめ、ごみの重さを量りました。

ご参加いただいた32世帯のご家族から重さの記録と感想を書いた報告書をいただきましたので、内容をご紹介します。

○こんなに減りました！！

ごみ出し1回あたりの重さの平均を段ボールコンポストに取り組む前と後で比較してみると下のグラフのようになりました。



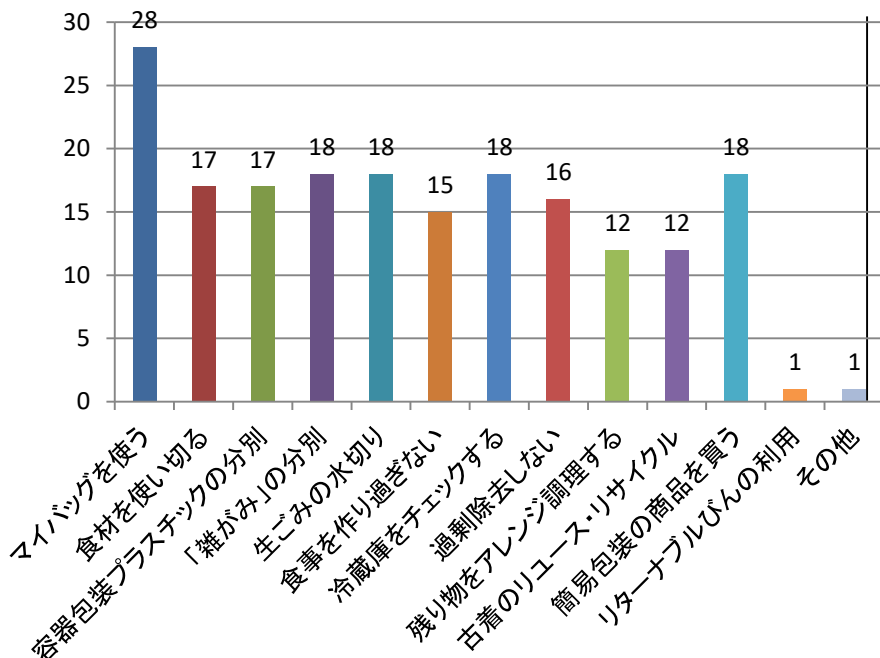
報告いただいた88%の世帯がごみの減量に成功したんやで！



○コンポストの他にも、こんな減量方法に取り組んでみました！

(世帯数)

※複数回答あり



家庭でできる減量方法はいろいろあるのね。



お寄せいただいた感想の中から、一部をご紹介しますいただきます。

○ ごみについてたくさん考えました

- ・ 燃えるごみの重さにおどろいた！！
- ・ 生ごみの量が気になり、しっかりと水切りするようになった！
- ・ 燃えるごみの大半が生ごみだった。
- ・ 部屋の片づけでたくさんのごみが出てしまった。
- ・ 食べ残しがなくても、調理するだけで生ごみが出てしまう。
- ・ ごみ袋代を節約するために小さいサイズに変えている。



○ 段ボールコンポストってすごい！

- ・ コンポストの土はホカホカして温かかった。
- ・ コンポストには水分も大事。
- ・ 分厚いスイカの皮がペラペラになり、固い「しん」も分解された。
- ・ 小バエも生ごみの臭いも米ヌカを入れると消えた。
- ・ コンポストの温度がとても高くなってびっくりした！！

○ こんなことにも気づいたよ

- ・ 燃えるごみの中には生ごみ以外の物が多かった。
- ・ 食べ残しや食品の買い過ぎには気をつけたい。
- ・ 紙ごみとプラスチックごみの分別を徹底した。
- ・ 未利用魚も食べるようにする。
- ・ 古いおもちゃでも捨てずに使いたい。
- ・ 分解される速さが生ごみごとにずいぶん違う。
- ・ 3回目の挑戦で、白いカビが生え分解される生ごみの様子がわかった。
- ・ コンポストの分量が足りないくらい生ごみが沢山でた。
- ・ コンポストの重さも毎日入れるごみの量で変化した。



○ 家族で一緒に！

- ・ 昨年、兄がコンポストで作った肥料で花がきれいに咲いた。
- ・ 以前から不要な物を買わず、残飯も非常に少ないのであまりごみは出なかった。
- ・ お父さんが食事の残りを食べてくれた。

○ 少しこまったことも・・・

- ・ 肉を入れると、臭いと小バエが大量に発生した。
- ・ 雨がからならないようにするのが大変だった。
- ・ 生ごみを乾かす間にカビが生えてしまった。
- ・ 数日間コンポストを混ぜないと虫がわいてしまった。



リサイクル工房あづまより

例年よりも暑い夏、皆さんがいろいろ工夫してごみの減量に取り組んでいる様子が伝わりました。微生物の力は不思議ですね。一人一人がごみを減らすことが大切です。ご家族の皆様のご協力に感謝致します。ありがとうございました。

